

そんな優しく元氣なトミおばさんが倒れて入院したと聞いたときは夜も眠れなかった。お見舞いに行きたびに力強さがなくなっている姿を見るのは本当に辛かった。

それでも僕が病室に行くと、いつもの笑顔で笑いながら話してくれたよね。その姿を見ているだけで、僕の方がなんだか元氣になっていたんだ。入院してから1ヶ月になるまで、僕に託すかのようにおばさんは自分の大好きだったお花の話、仕事の楽しかったこと、大変だったこと、たくさん話してくれたよね。あれほどじつじつおばさんの話を聞いたのは初めてで、高校生だった僕はまるでテレビドラマの物語のようだと思って聞いていたんだ。

学生の僕では想像しきれないほど、辛い時もあつたんだね。それでもトミさんのこの花は花持ちがいいから助かってるよ、とか来年も奥さんの誕生日の花束よろしくね。と言ってくれるお客さんたちがいたから、店を続けられたと話すおばさんの柔らかい表情が今も忘れられないよ。そんな僕も社会人の年目、実際に働いてみると、大変なことやうまくいかないことだらけ、トミおばさんが自分の仕事に誇りを持って、向き合っていたことが本当に凄いことで尊敬できることなんだと身をもって感じています。

僕もトミおばさんのように優しく、みんなから愛されるような大
人になれるよう頑張るから、天国で見守っていてね。

リクエスト曲 (喝采／ちあきなおみ)